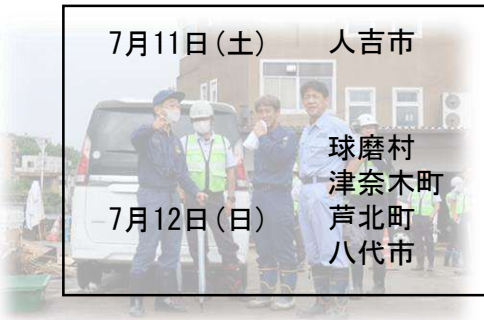
「令和2年7月豪雨」熊本県被災地調査報告

【松村祥史参議院議院運営委員長との現地調査】

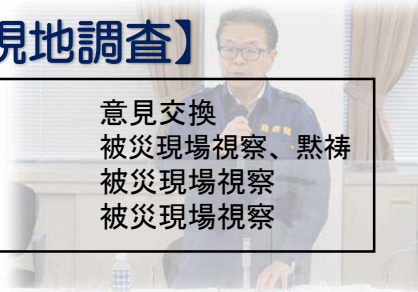


7月11日(土)	人吉市	・浸水した人吉市中心街の九日町商店街	被災現場視察
		・落橋した球磨川に架かる西瀬橋	落橋現場視察
		・浸水した国宝の青井阿蘇神社	被災現場視察
	球磨村	・球磨川沿川の国道219号や鉄道の被災現場	被災現場視察
	津奈木町	・福浜の平国地区の土砂災害現場	被災現場視察
7月12日(日)	芦北町	・女島地区、田川地区の土砂災害現場	被災現場視察
	八代市	・球磨川沿いの坂本地区の浸水被害現場	被災現場視察

【自民党令和2年豪雨災害対策本部 岸田文雄本部長代行 現地調査】

7月19日(日)	水俣市	・水俣市役所	意見交換
	津奈木町	・津奈木町役場	意見交換
	芦北町	・田川地区の土砂災害現場、芦北町役場	被災現場視察、意見交換
7月20日(月)	芦北町	・あしきた農業協同組合	被災お見舞い
	八代市	・水害被害を受けた坂本町、八代市役所	被災現場視察、意見交換
	人吉市	・被災した老舗温泉旅館「あゆの里」	被災現場視察
		・人吉カルチャーパレス（仮移転している市役所）	意見交換
	球磨村	・災害対策本部が設置されているさくらドーム	意見交換
		・県道 相良橋、肥薩線の鉄橋	落橋現場視察

【参議院世耕弘成幹事長 令和2年7月豪雨 現地調査】



7月31日(金)	球磨村	・再開したばかりの球磨村役場	意見交換
		・特別養護老人ホーム 「千寿園」	被災現場視察、黙祷
	人吉市	・中心街の九日町商店街	被災現場視察
		・老舗温泉旅館「あゆの里」	被災現場視察

【川辺川ダム・球磨川沿川現地調査】

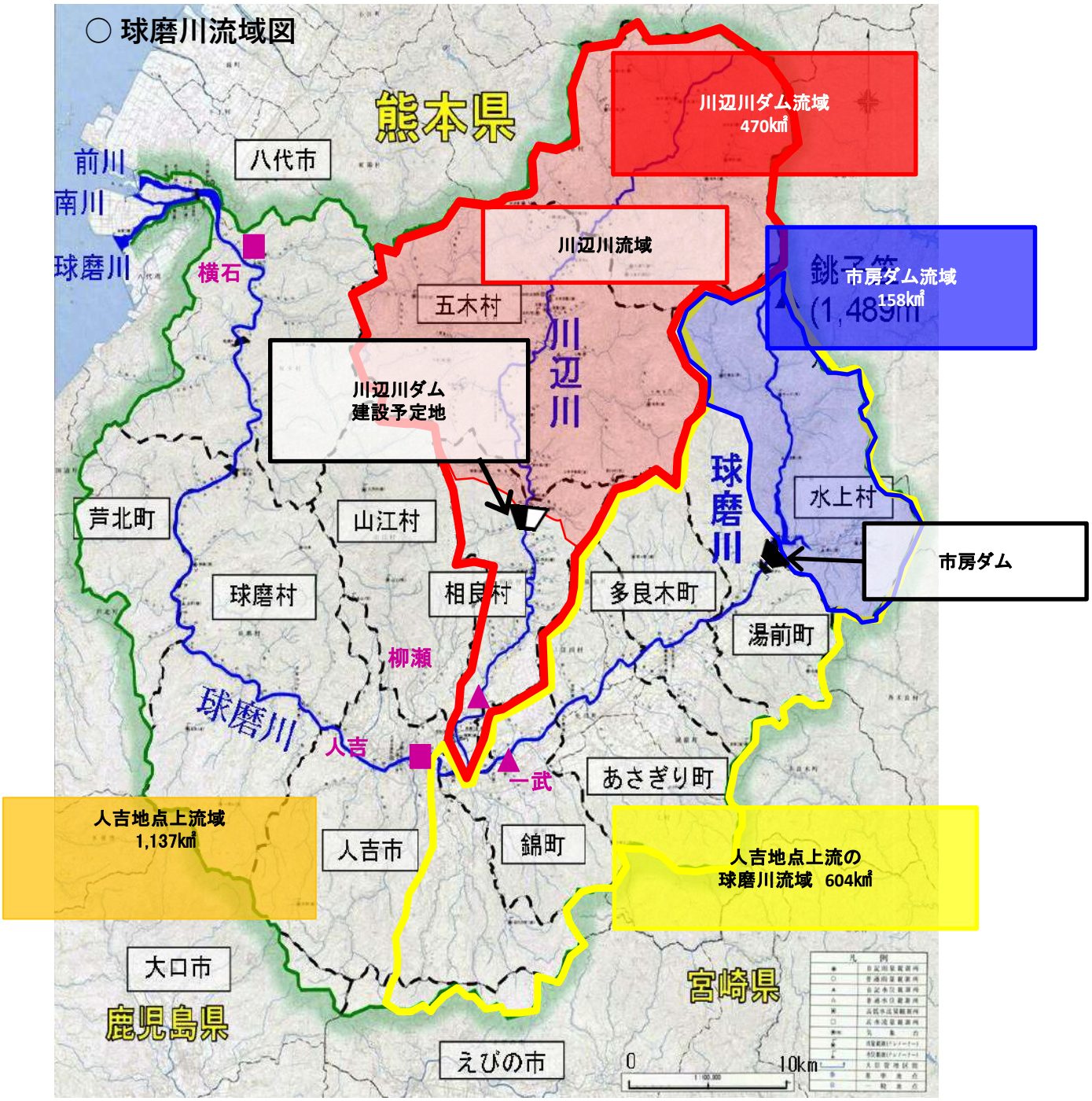
8月24日(月)	五木村	・川辺川ダムの建設予定地、五木村役場	視察、意見交換
		・付け替え道路の橋梁新設工事現場	現場視察
	人吉市	・人吉市カルチャーパレス	意見交換
		・西瀬橋の仮復旧の現場	現場視察
	八代市	・八代市鏡支所	意見交換

【参議院災害対策特別委員会 委員派遣 現地調査 】

9月9日(水)	球磨村	・被災した渡小学校	現場視察
		・特養ホームの千寿園	現場視察
	人吉市	・応急復旧で開通した西瀬橋	現場視察
		・熊本県副知事、人吉市長、球磨村村長との意見交換	意見交換
		・梢山グランドの仮設団地	現場視察

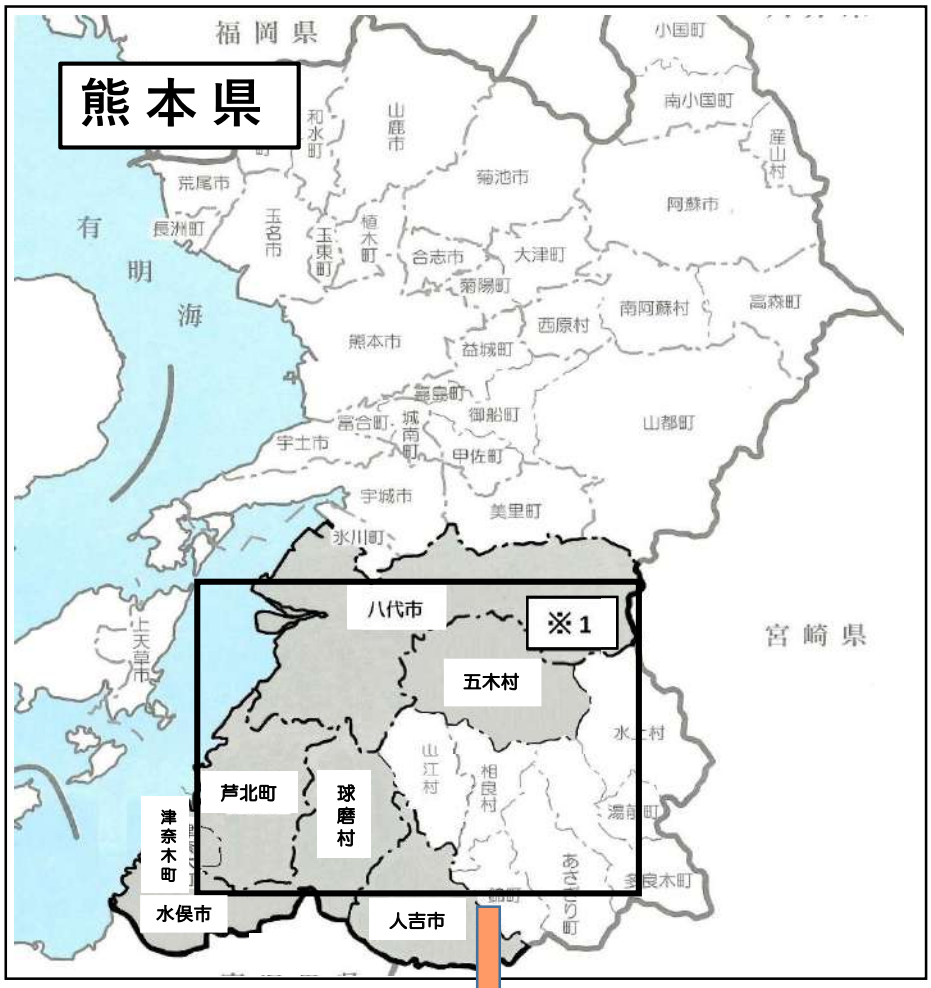
参議院議員　足立　敏之

球磨川流域図

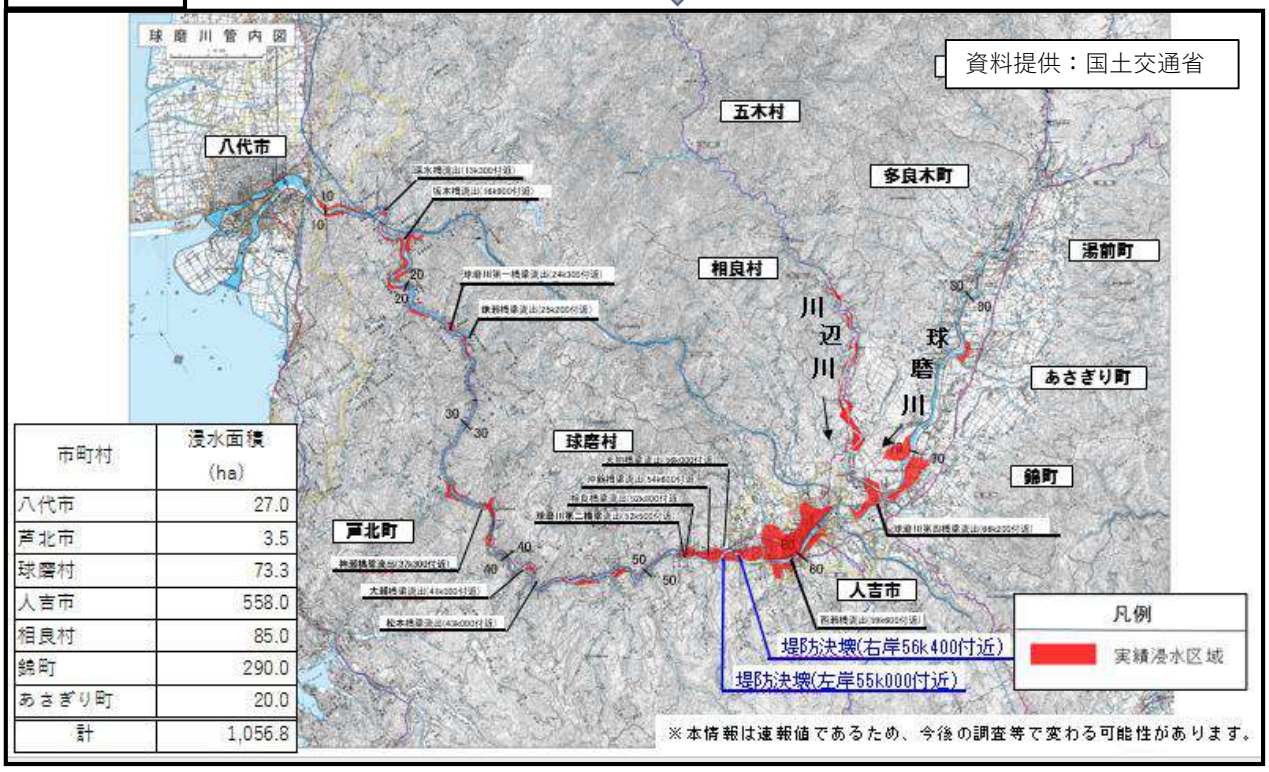


資料提供：国土交通省、足立敏之事務所編集

令和2年7月豪雨　球磨川流域の浸水範囲（熊本県）



※１拡大図



市町村	浸水面積（ha）
八代市	27.0
芦北市	3.5
球磨村	73.3
人吉市	558.0
相良村	85.0
錦町	290.0
あさぎり町	20.0
計	1,056.8

熊本県 人吉市、球磨村の被災現場視察

2020/7/11

7月11日(土)から、梅雨前線による大雨で被災した熊本県南部を中心に、元国土交通省技監で東京大学教授の池内幸司さん、元国土技術政策総合研究所所長で河川財団河川総合研究所長の藤田光一さんらとともに現地調査に入りました。

最初に人吉市に入り、熊本県建設業協会人吉支部で、松村支部長から参議院議員の松村祥史先生とともに被災状況の説明を受けました。
その後、松村支部長や支部の幹部の皆さんのご案内で、甚大な浸水被害を発生した人吉市の中心街の九日町商店街や球磨川沿いの温泉街などを視察しました。ご地元の溝口県議も現地で合流されました。特に中心街の被災は著しく、5m以上の浸水により建物は二階まで被害を受けており驚きました。また、老舗の温泉旅館も水圧で川に面した側の窓ガラスが大きく割れて、大量の土砂が堆積するなど深刻な状態でした。
激しい雨の中ではありましたが、地域の皆さんが被災建物や被災家屋の片付けに全力で頑張っておられ、頭の下がる思いでした。

熊本県建設業協会 人吉支部

人吉市 九日町より球磨川を挑む

2階まで浸水している 人吉市 九日町の飲食店街

人吉市 球磨川支川山田川破堤箇所

人吉市 九日町商店街

人吉市 九日町商店街

人吉市 人吉温泉 清流山水花あゆの里

続いて、落橋した人吉市内の球磨川に架かる西瀬橋、国宝の青井阿蘇神社、中神地区の球磨川の破堤地点などに伺いました。

青井阿蘇神社は伝統のある建築物ですが、宮司さんによると楼門や拝殿が浸水するのは寛文8年(1669年)や正徳2年(1712年)の大洪水以来のことだそうです。

破堤地点は、人吉市の最下流で、通常破堤地点でよく見られる「落ち掘り」が発達しておらず、堤内地側の水位も相当高かったのではないかと考えられました。

落橋した西瀬橋

青井阿蘇神社 禊橋

青井阿蘇神社 桜門

青井阿蘇神社の国宝指定書

球磨川 中神破堤箇所

続いて、人吉市の下流の球磨村に松村支部長や支部の幹部の皆さんのご案内で、松村祥史参議院議員とともに伺いました。球磨川沿川の県管理の国道219号や県道、鉄道、家屋等がいたるところで5mも浸水する猛烈な被害でした。甚大な被害が出た特養ホームの千寿園も国道から見ることができました。あらかじめ避難計画は策定されており、避難訓練も年2回行われていたということで、とても残念なことです。

なお、浸水した球磨村役場は、さくらドームという屋根付きではありますが吹きっさらしのゲートボール場にその機能を移しており、役場の職員や県の職員、国土交通省のTEC-FORCE、気象庁のJETTをはじめ各省のリエゾンの皆さんが頑張っておられました。そこでは松田県議からもお話を伺うことができました。孤立した集落から何とか避難してこられた方々も、続々と到着しておられました。

なお、球磨川と川辺川の合流点に位置する人吉市やその下流の球磨村がこれまでにない想像を絶するような激甚な浸水被害を受けているのを見ると、川辺川ダムがあれば被害を軽減できたのではないかと残念でなりません。川辺川ダムを前提とした球磨川の河川整備基本方針の策定を本省の課長として担当していた立場からすると、国土交通省でできるだけ早期に今回の豪雨災害について分析・検証し、八ッ場ダムの6,500万㎥の1.3倍ある川辺川ダムの8,400万㎥の洪水調節容量の効果を改めて評価し、抜本的な対策を打ち出して欲しいと思います。

球磨川沿川の流失した国道219号

球磨川沿川の流失した国道219号

ピロティ家屋でも2階まで被災している
球磨村 渡地区

渡駅付近で寸断されたJR肥薩線

犠牲者14名が出た
特別養護老人ホーム 「千寿園」

「千寿園」近くの球磨村 渡地区

球磨村の機能を移している「さくらドーム」

夕方、八代の建設業会館で、中村八代市長から、道路や橋梁の早期改良復旧、人員の派遣、球磨川の萩原堤防の強靭化などについてご要望をいただきました。

早期改良復旧、強靭化等のご要望を頂いた
中村 八代市長

-熊本県- *2020/7/11*

熊本県 津奈木町、芦北町、八代市の被災現場視察

2020/7/12

7月12日(日)、佐藤芦北支部長、野崎副支部長、平生副支部長にご案内いただき、熊本県津奈木町の土砂崩れの現場に伺いました。ご地元の荒川県議にもご同行いただきました。

3人が犠牲になられた津奈木町福浜の平国地区の現場に伺いましたが、山田町長に駆けつけていただき、警察・消防・自衛隊あわせて200人規模の捜索の状況を見させていただくとともに、深刻な被害の状況についてご説明をいただきました。

なお、現地ではありましたが、町長から、早期の激甚指定、仮設住宅の早期設置、災害廃棄物処理の支援などのご要望をいただきました。

捜索でも建設業者が協力している
津奈木町福浜 平国地区

ご説明頂いた 山田 津奈木町長

-熊本県- *2020/7/12*

200人規模で行方不明者の捜索中の
津奈木町福浜 平国地区

続いて、佐藤支部長をはじめ幹部の皆様と芦北町に伺い、2人が犠牲になられた女島地区の土砂災害の現場に伺いました。流出土砂の凄まじさを、現地でご案内いただいた地元の川尻町議から伺いました。

その後、芦北町役場に伺い、竹﨑町長と意見交換を行い、早期の激甚指定、仮設住宅の早期着工、避難者への栄養バランスのとれた食事の提供、全道路の早期啓開、河川堆積土砂の除去などの要望をいただきました。

続いて、3人が犠牲になられた田川地区の土砂災害の被災地に伺いました。一瞬にして家屋をバラバラにした大規模な土石流のエネルギーのすさまじさに驚きました。

２人が犠牲となった 芦北町 女島地区

早期の激甚指名等のご要望を頂いた
竹﨑 芦北町長

３人が犠牲となった 芦北町 田川地区

続いて、八代市に移動し、球磨川沿いの坂本地区の被災現場に中山八代支部長、小笹副支部長、高野副支部長らとともに伺いました。

球磨川沿川の国道219号は、路面から4～5mの高さまで洪水の痕跡が残っており、驚くような流量が流れたものと考えられました。

また、路肩の崩れた国道219号を通って荒瀬地区の橋梁の前後が流出してしまっている現場にも伺いましたが、そこから先は通行止めで、国土交通省中国地方整備局のTEC-FORCEが被災状況を調査中でした。地元の皆さんからは、直轄の権限代行による復旧を強く要請されました。

その後、市街地に戻り、球磨川の弱部とも言われている萩原堤防を視察しました。以前より堤防の幅が広がり補強されたように思いました。

続いて、球磨川右岸の上流側の県道中津道八代線の道路の崩落現場を見させていただきました。そこも孤立を生んでいる被災箇所でした。

道路面より4～5m上まで痕跡が残る球磨川沿いの
国道219号（八代市坂本町 荒瀬地区）

八代市坂本町 荒瀬地区

八代市坂本町 荒瀬地区

球磨川下流部 八代市の萩原堤防

決壊により寸断された中津道八代線(坂本町)

八代市 遥拝堰（農業用取水堰）

熊本八代支部（中山支部長、小笹副支部長、高野副支部長）の皆様と、
池内東大教授、藤田河川財団研究所長

岸田文雄政調会長とともに熊本県水俣市に入る前の7月19日(日)午前中、人吉市内の浸水被害の状況を詳細に見せていただくため、現場を訪れました。熊本県建設業協会の土井会長、人吉支部の松村支部長、ご地元の溝口県議にご同行いただき、丁寧に被災状況を見させていただきました。

人吉市中心部の激烈な被災状況を目の当たりにして、この街を何とか早期に再生できるよう頑張らねばならないと改めて強く感じました。

【浸水した人吉市中心街の九日町商店街】

熊本県 水俣市、津奈木町、芦北町にて
意見交換と被災現場視察

2020/7/19

7月19日(日)、梅雨前線による大雨で被災した熊本県南部に、「自民党令和2年豪雨災害対策本部」から本部長代行の岸田文雄自民党政調会長、事務局長の今村雅弘衆議院議員とともに事務局長補佐として現地調査に伺いました。

ご地元の金子恭之衆議院議員、馬場成志参議院議員、藤木真也参議院議員、吉永県議、荒川県議が同行されました。

まず、水俣市役所に伺い、高岡市長から被災状況の説明とご要望を承りました。私からは、水俣川の河床掘削の必要性、南九州西回り道路の重要性について発言をさせていただきました。

続いて、津奈木町役場に伺い、山田町長から被災状況の説明とご要望を承りました。私からは、土石流で被災した平国地区の今後の復旧のあり方について発言をさせていただきました。

水俣市長との意見交換会

水俣市長との意見交換会

水俣市長との意見交換会

津奈木町長との意見交換会

津奈木町長との意見交換会

続いて、犠牲者を出した芦北町田川地区の土砂災害現場に伺いました。家屋が2戸倒壊した現地で黙祷させていただくとともに、芦北町の竹﨑町長からご説明をいただきました。

続いて、芦北町中心部で被災した老舗旅館に伺いました。旅館の社長に被災した建物の中までご案内をいただきましたが、深刻な被害に驚きました。

その後、役場に伺い、竹﨑町長をはじめ町の幹部の皆さんと今後の復旧・復興について意見交換を行いました。私からは、芦北町の一部が面している球磨川の抜本的な治水対策について発言をさせていただきました。

芦北町 田川地区土砂災害現場

芦北町 野坂屋旅館

芦北町長との意見交換会

芦北町長との意見交換会

-熊本県-　*2020/7/19*

熊本県 芦北町、八代市、人吉市、球磨村にて 被災現場視察と意見交換

2020/7/20

翌日の7月20日(月)、まず芦北町のあしきた農業協同組合に被災のお見舞いに参りました。地元の金子恭之衆議院議員、馬場成志参議院議員、松村祥史参議院議員、吉永県議、荒川県議が同行されました。

続いて、球磨川沿いで激甚な水害被害を受けた八代市の坂本町に伺いました。1週間前に来た際にはまだ通行止めで、最近ようやく孤立が解消した地域で、まだまだ片付けが進んでおらず、生々しい状況が見てとれました。なお、道路の路面より5m以上の高さに洪水の痕跡が確認されましたので、大変驚きました。

-熊本県-　*2020/7/20*

JAあしきた

八代市坂本町 坂本地区

八代市坂本町 坂本地区

八代市坂本町 坂本地区

八代市 坂本支所内

落橋した坂本橋

落橋した坂本橋

引き続き、八代市役所に移動し、中村市長と意見交換をさせていただきました。市長からは、球磨川の抜本的治水対策について強い要望がありました。

続いて、自民党熊本県連所属の県議の皆さんから要望書をいただき、それをもとに意見交換を行いました。

県連からは、ボランティアが入れない影響で家屋内の泥や災害廃棄物の処理が滞っている問題、洪水を踏まえ総合的・抜本的な治水対策に取り組む必要性などのご指摘がありました。

八代市長との意見交換会

八代市長との意見交換会

熊本県 田島副知事より要望

自民党熊本県連と県南自民党県議団との要望会

その後、人吉市に移動し、ご地元の松岡市長や溝口県議のご案内で、「あゆの里」という老舗の温泉旅館の被災状況を視察しました。１階の窓ガラスが割れて、大量の泥がロビーに堆積していましたが、１週間前に比較すると皆さんのご努力で泥がきれいに排除されていました。

続いて、九日町商店街の被災状況を視察し、被災した焼肉屋の中の状況などを見せていただきました。内部は、天井まで水が来ており大変な状況でした。

その後、市内の青井阿蘇神社に伺い被災状況を見させていただきました。宮司さんからは、楼門が浸水したのは江戸時代以来とのことで、今回の水害が極めて歴史的な大水害だったことがうかがえました。

被災した人吉温泉「あゆの里」

人吉市 九日町商店街

青井阿蘇神社

青井阿蘇神社

青井阿蘇神社

青井阿蘇神社 楔橋

その後、熊本地震で被災した人吉市役所が仮移転している人吉カルチャーパレスに伺い、松岡市長など市の幹部の皆さん、溝口県議、松田県議らと意見交換をさせていただきました。市長からは「市民の中には浸水した地域には住み続けたくないとの意向の方もいて存亡の危機」とのお話があり、復興街づくりや被災自治体への財政支援を強く求められました。また、地元の溝口県議からは、治水対策と街づくりを一体的に考える必要性などについてご指摘がありました。

続いて、球磨村に移動し、役場機能を移し災害対策本部が設置されている屋根付きゲートボール場のさくらドーム周辺に伺い、松谷村長など村の幹部の皆さん、松田県議らと意見交換を行いました。村長からは、安全な平場がなく仮設住宅の設置場所がないこと、今後安全に住まうための抜本的な治水対策と街づくりの必要性などについて意見をいただきました。

人吉市長との意見交換会

球磨村「さくらドーム」

人吉市長との意見交換会

球磨村長との意見交換会

球磨村長との意見交換会

球磨村「さくらドーム」

引き続き、球磨村の県道相良橋、肥薩線の鉄橋の落橋地点に伺いました。いずれもトラス構造の歴史的な橋梁で、架橋以来初めて球磨川の洪水の巨大なエネルギーにさらされたものと考えられました。

なお、球磨川沿川では、落橋した道路橋10橋を含み激しく被災した約100kmの県管理の国道、県道、市町村道をまとめて九州地方整備局が権限を代行して復旧することになりました。ありがたい限りです。

球磨村県道 相良橋、肥薩線の鉄橋の落橋地点

熊本県 球磨村、人吉市 被災現場視察

2020/7/31

7月31日(金)、参議院の世耕弘成幹事長、上月良祐副幹事長とともに今回の豪雨災害で被災した熊本県の球磨村、人吉市に伺いました。
現地では松村祥史先生にご案内をいただき、意見交換会にはご地元から馬場成志先生、小川克巳先生、本田顕子先生、宮崎雅夫先生が参加されました。

まず最初に伺ったのは球磨川の渓谷沿いの球磨村です。ライフラインが復旧して23日に再開したばかりの役場に伺い、松谷村長と意見交換をさせていただきました。私から閣議決定したばかりの「被災者の生活と生業の再建に向けた政策パッケージ」について説明し、村からは、避難者が戻れる場所の確保、光ファイバー切断に伴う通信障害、学校再開に向けた課題などについて要望をいただきました。
なお、人吉市に戻る際に、相良橋の落橋地点の湯の駅の被災箇所で、整備局の村山局長、沓掛道路部長、服部八代河川国道事務所長から権限代行で行う道路・河川の整備についてご説明をいただきました。
また、14名が犠牲になられた渡地区の千寿園にも立ち寄り黙祷を捧げました。

松谷球磨村長との意見交換会

犠牲者14名が出た
　特別養護老人ホーム 「千寿園」

球磨村 相良橋の落橋地点

球磨村から人吉市内に移動し、中心街の九日町商店街を、松村祥史先生に加え地元の溝口県議にもご案内いただき、被災者のお話しを伺いながらじっくり見て回りました。

再建に向けて必死に頑張っているしょうゆの製造工場、川沿いの温泉旅館、国宝の青井阿蘇神社などの皆さんから復旧に向けた取り組みについてご説明をいただきました。12日に伺った頃に比べると、ずいぶん泥はきや片付け、廃棄物処理が進んでいました。

人吉市 九日町商店街

再建に向けて頑張っていらっしゃる
醤油の製造工場

人吉温泉「あゆの里」

-熊本県- *2020/7/31*

国宝 青井阿蘇神社

災害ボランティアの皆さん

その後、中小企業大学校をお借りして、県連会長の前川県議、溝口県議、松田県議、緒方県議、地元の松岡人吉市長と意見交換会を行いました。

前川会長からは、県連の21項目の要望のほとんどが政策パッケージに盛り込まれたことについて感謝の言葉がありました。

溝口県議や松岡市長からは、被災住民から引き続き住み続けることに不安の声があることを踏まえ、治水対策と街づくりを一体で考えて対応する必要があるとのご意見をいただきました。

続いて、被災企業の皆さんとの意見交換会を行いました。皆さんからは政策パッケージ、特にグループ補助金を拡充した「なりわい再建補助金」の創設に大きな期待が集まっていました。

熊本県建設業協会人吉支部の松村支部長からは、マンパワー不足の問題、廃棄物処分場の確保の問題などの指摘がありました。

その後、世耕弘成幹事長がぶら下がりでマスコミの取材を受けられましたので、同席させていただきました。

自民党県連、
人吉市長との意見交換会

被災企業・団体の皆さまと
意見交換会

松村参議院議員

前川熊本県連会長

松岡人吉市長

被災者の生活と生業の再建に
向けた政策パッケージの説明

松村人吉支部長

川辺川ダム・球磨川沿川被災地視察

2020/8/24

7月上旬の梅雨前線による豪雨災害で被災した熊本県南部に、災害発生後4度目になりますが、8月24日（月）、現地調査に入りました。熊本県八代市の副市長や九州地方整備局の河川部長を歴任され、7月21日付けで退官された佐藤克英前東北地方整備局長にご同行いただきました。なお、九州地方整備局OBで現地に詳しい遠山さんにご案内いただきました。

まず、平成21年の政権交代に伴い前原元国土交通大臣によって中止とされている五木村の川辺川ダムの建設予定地を訪れました。平成11年に完成した仮排水路トンネルの呑口や、本体工事用の骨材製造設備や貯蔵設備などの基礎も確認でき、まさに本体工事着手直前にストップしたことがありありとわかり、改めてこのダムが完成していたらと残念な思いにとらわれました。

五木村 川辺川ダムの建設予定地

本体工事用の骨材製造設備

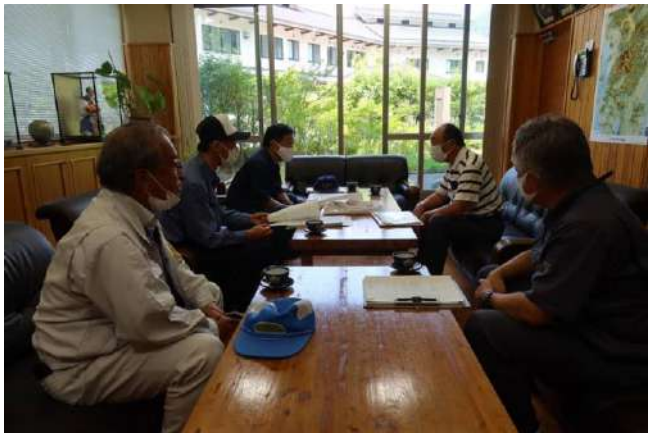
平成11年に完成した
仮排水路トンネルの呑口

-熊本県-　*2020/8/24*

本体工事用の骨材製造設備や貯蔵設備などの基礎

次に、川辺川ダム貯水池予定地からの移転者の多くの方々が現在住んでいる頭地代替地の五木村役場に伺い、和田前村長にお会いして意見交換をさせていただきました。前村長からは、これまでの経緯や地元の思いについて改めてお話を伺いました。

その後、川辺川ダムの貯水池予定地の末端にあたる地区の付け替え道路の橋梁新設工事の現場を見させていただきました。本来、国が補償工事で行うべき工事でしたが、現在は県で施工中でした。



和田前五木村長との意見交換

付け替え道路の橋梁新設工事の現場

続いて、熊本地震で被災した人吉市市役所の仮庁舎の置かれている人吉市カルチャーパレスに伺い、松岡市長と意見交換をさせていただきました。溝口県議が同席されました。市長からは、まちづくりと一体となった抜本的な治水対策や、集団移転を希望されている地区の対応のありかたなどについてお話がありました。

次に、落橋した人吉市内の西瀬橋の仮復旧の現場に伺いました。現地で工事を担当している鹿児島国道事務所の森副所長、施工を担当している丸昭建設の土木部の伊藤総括部長、安全品質部の西部長にご案内いただきました。この橋は小学校への登校ルートとなっていることから、応急架設橋を大型クレーンで緊急に設置するなど迅速な施工が進められており、そのスピード感に驚きました。

その後、人吉市内の温泉街の被災状況を、被災した大橋から視察しました。

松村人吉市長との意見交換
人吉市カルチャーパレス（人吉市役所の仮庁舎）

人吉市 落橋した西瀬橋の仮復旧の現場

人吉市 落橋した西瀬橋の仮復旧の現場

人吉市 被災した温泉街

その後、球磨川沿いで被災している国道219号、県道中津道八代線について、権限代行で延長約100kmにわたり九州地方整備局が復旧を行っている現場に伺いました。案内は、熊本県建設業協会人吉支部の味岡副支部長、満石理事にご案内いただきました。

途中、球磨村役場に伺い、松谷村長と意見交換をさせていただきました。村長からは、住宅や道路の復旧をどういう高さで行うべきかなどのお話をいただきました。

引き続き、球磨村や芦北町、八代市の坂本地区などの被災地や落橋箇所などを視察しながら、球磨川沿いを下りました。一部、肥薩線の線路敷きを仮付け替え道路に活用しているのを見ましたが、こういう応急処置は直轄しかできないだろうと強く感じました。

松谷球磨村村長との意見交換

球磨村や芦北町、八代市の坂本地区などの被災地や落橋箇所

その後、八代市の鏡支所で中村市長、佐藤前局長が副市長の頃の市長であった坂田県議と意見交換をさせていただきました。市長や県議からは、過去の経緯についてお話を伺うとともに、坂本地区の被災状況や下流の萩原堤防の整備の要望などお話を伺いました。

中村八代市長、坂田熊本県議との意見交換

参議院災害対策特別委員会 委員派遣 現地調査

2020//9/9

9月9日(水)、参議院災害対策特別委員会の委員派遣で、杉久武委員長、長峯誠与党筆頭理事をはじめ6名の委員や、ご地元の松村祥史先生、馬場成志先生とともに、7月の豪雨災害で被災した熊本県南部に伺いました。

最初に人吉市下流側の渓谷部の球磨村に伺い、被災した渡小学校を視察しました。森教育長のご案内で、被災した校舎の内部まで見させていただきました。とても痛々しい状況でした。

続いて14名の犠牲者を出した特養ホームの千寿園に伺いました。残念ながら入居者全員を避難させることができなかった職員の方々のお話を伺い、その無念さを痛いほど感じました。

球磨村 被災した渡小学校

-熊本県- *2020/9/9*

14名の犠牲者を出した特養ホームの千寿園

球磨村から人吉市内に戻り、応急復旧で9月4日に開通した西瀬橋に伺いました。8月24日に架設状況を見せていただいた落橋した橋が、見事に機能を回復していました。九州地方整備局の村山局長や沓掛道路部長にご説明いただきましたが、9月4日から子供たちの通学路として復活していると伺い、直轄代行の力強さを改めて強く感じました。

応急復旧で9月4日に開通した西瀬橋

その後、高台のホテルに移動して、田嶋熊本県副知事、松岡人吉市長、松谷球磨村長と意見交換をさせていただきました。松岡市長や松谷村長からは、街づくりとあわせて抜本的な治水対策を要請されました。

私からは、直轄の権限代行による迅速な復旧に感謝するとともに、九州地方整備局の人員・組織についてお力添えをいただくよう各委員の先生方にお願いしました。さらに、川辺川ダムの建設を含めた抜本的な治水対策を早期に進めるようお願いしました。

田嶋熊本県副知事、松岡人吉市長、松谷球磨村長と意見交換

続いて、球磨川沿いの温泉旅館「あゆの里」に伺い、被害の状況についてご説明いただきました。発災当初に訪れた頃からするとかなり片付けが進んでおり、何とか早期に営業を開始されるよう期待したいと思います。

その後、人吉市内の梢山グランドの仮設団地に伺いました。熊本の気候に配慮した木造の暖かみのある仮設住宅で、バリアフリーも徹底しており、以前に比べて大きく改善されていると感じました。

球磨川沿いの温泉旅館「あゆの里」

人吉市内の梢山グランドの仮設団地

-熊本県-　*2020/9/9*

「台風10号」宮崎県椎葉村 土砂災害現場調査報告

9月9日（水）	**宮崎県** 椎葉村 ・**土砂災害現場**	現場視察

降雨情報【観測所：椎葉駐在(災害発生場所から約5km)】		
連　続　雨　量	553mm	9/5 2:00 ～ 9/7 8:00
最大24時間雨量	475mm	9/6 2:00 ～ 9/7 2:00
最大時間雨量	39mm	9/6 19:00 ～ 9/6 20:00

椎葉村（しいばそん）の土砂災害現場へ土砂災害専門家を派遣（数値は宮崎県からの情報）

令和2年9月8日7：30現在

資料提供：国土交通省

「台風10号」宮崎県椎葉村 土砂災害現場調査

2020//9/9

台風10号によって、宮崎県建設業協会日向支部の相談役である相生組社長の社屋や住宅が被災されました。相談役ご本人は病院に搬送され入院中ですが、ご家族2名と外国人高度技術専門職のベトナム人2名が行方不明になっています。とても残念なことです。

私は、9月9日(水)、参議院災害対策特別委員会の委員派遣で熊本県南部を訪問した後、長峯誠参議院議員とともに、宮崎県椎葉村に入り、椎葉村の椎葉村長から現地の状況についてご説明を聞いたあと、被災地に伺いました。

現地は大規模な土石流の直撃で被災した会社や住宅の建物は跡形もないような状況で、大変痛ましい状況でした。

NHKの報道によれば、行方不明になっておられる相生組の専務が「台風が過ぎた後、復旧作業にすぐに取りかかれるよう事務所に待機していると」話しておられたとのことで、とても無念に思いました。まさに、地域の建設業が災害復旧の担い手であることを身をもって示されたのではないかと強く感じました。その思いに何としても報いなければならないと考えています。

-宮崎県- *2020/9/9*

椎葉村長より現地の状況についてご説明いただく

長峯誠参議院議員とともに災害現場を視察させていただく

足立敏之　国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-1　　参議院議員会館501号室
Tel. 03-6550-0501　　Fax. 03-6551-0501